

2005
賀
年

A HAPPY NEW YEAR Border

鎌倉のお正月は、大晦日の除夜の鐘から始まります。山と海に囲まれたこの小さな町の夜は鐘の音に包まれ、それは美しい音色です。私が一度だけ、その音色を聞かなかった年がありました。2000年の暮れ、私は思い切って冬のシベリアへの旅に出かけました。12月29日の夜半、イルクーツクから東へ向かう列車、ロシア号に乗り込みました。氷のアンガラ河を渡り、バイカル湖を左に見て、シベリア大陸をひた走ります。東へ向かう旅は、イルクーツクと日本との時差数時間を縮めていきます。まるで列車で走りながら時計を巻き戻しているような不思議な感覚があります。列車の中ではモスクワ時間ですが、実際に現地で何時なのかは、誰もわかりません。わかるのは今が朝なのか夜なのかだけ。列車の中は石炭ストーブで温かすぎるのですが、窓の外にはシベリアの凍った大地の風景が流れています。そして3日目の夜、日本時間に合わせた時計が2001年の最初の時を刻みました。『あけましておめでとう!』『HAPPY NEW YEAR!』ワインの乾杯です。あちこちの部屋から赤鼻のロシアのおじさんや、陽気なアフガン人がのぞきこんで、『何やってる?まだ早いよ!』事情を話すと、そうかそうかと乾杯に加わりました。イスラムはお酒は飲めないと、アフガン人はジュースで乾杯。翌朝、真っ白なシベリアの森の木々の間から21世紀の美しい太陽が昇りました。窓からの風景がだんだん変わって来た頃、極東の大都市ハバロフスクに到着。30分の休憩があるという車掌さんの説明で皆でんでに列車を降りて行きました。階段を降りて地下道に入るとそれまでのシベリアの田舎駅とは様子が違い、不安を感じました。そして、事件。同行していた男性が警察官に理由もなく引っ張られそうになったのです。彼は、担当の女性の車掌さんに断固として助けられ、一同ほっとしました。ところが、列車が走り出したところで、あの陽気なアフガン人がいないのに気づきました。彼は終点のウラジオストックまで一緒に行くはずでした。いつも故郷の音楽をかけて聞いていた大切なラジカセも置いたまま……降りるはずがないのに、アフガン人がいない列車は東へと走り続けている。まもなく終点ウラジオストックに到着。丘の上に立つ美しいロシア正教の教会が、凍った極東の軍港を見下ろす街。ヨーロッパを思わせる美しい町並み。私は雪道を歩き、雪の舞い散る砂浜に降り、凍った海を眺めた。海はどこまでも真っ白で、霞んで見えるその向こうに、日本がある……

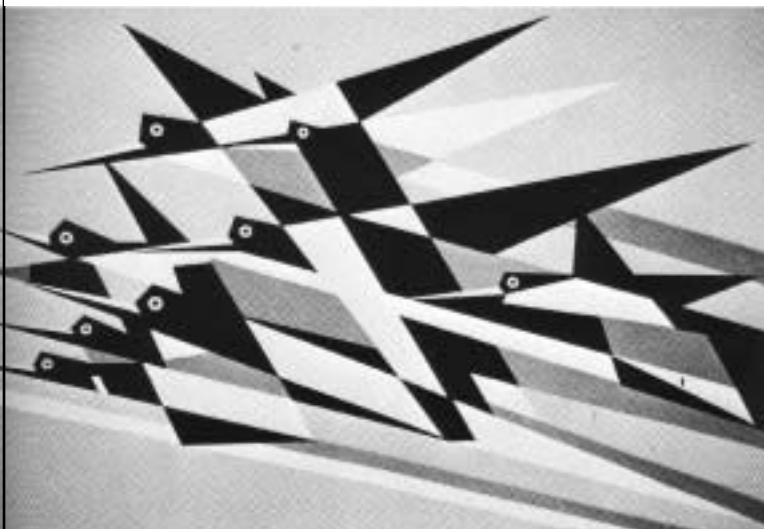


鎌倉の猫事情 第四十六話

COLUMN

子猫達が旅立って、なにごともしなかったかのような日々が戻ってきました。グーニー君は物干し場で、退屈そうにひなたぼっこをしています。スィーピーちゃんは時々不思議そうに、天井を見上げたりしています。6匹の子育てを終えたスィーピーは随分やつれては見えますが、元気にグーニーの退屈しのぎにつきあっています。一見のどかな光景にも見えますが、そろそろ退屈しのぎの度が越す頃です。グーニーの悪い癖が出なければいいのですけれど。そういえば子猫達の騒ぎで、長女すみれは、しばらく顔を見せませんでした。赤ん坊には遠慮をするのか、面倒くさいのか、もうすっかり大人の猫に成長したすみれは、うちを出てはあちこち勝手気ままに暮らす毎日です。弟のクウを連れて歩いているのをよく見かけます。体は大きいけど性格のおとなしいクウは姉さんのすみれを頼りにしているのです。ところが、近頃ではすみれにはクウのほかにも弟分が出来たようです。ある時ミルクホールの厨房の裏で白い毛に少し斑のある子猫が震えていました。今にも死にそうなくらいお腹を減らしているようです。可哀想に思ったスタッフたちが餌を与えていると随分元気になりました。そしていつの間にか、すみれ達の仲間に入れてもらったようです。近所のおすし屋さんの話によると、ある日、すみれを見かけて、マグロの残りをやったら、次からは他に2匹の猫を引き連れて来るようになったようです。そして、最初に自分が食べてから、クウと白猫に食べさせてやっているそうです。今日もまたミルクホールの裏を、すみれ、クウ、白猫の順序で駆け回っています。それを退屈しきったグーニーが、不機嫌そうに物干し場の上から見下ろしています。なにやらまた、事件が起こりそうな……

to be continued



TOPICS

ミルクホールのオリジナルグッズ
が登場いたしました。

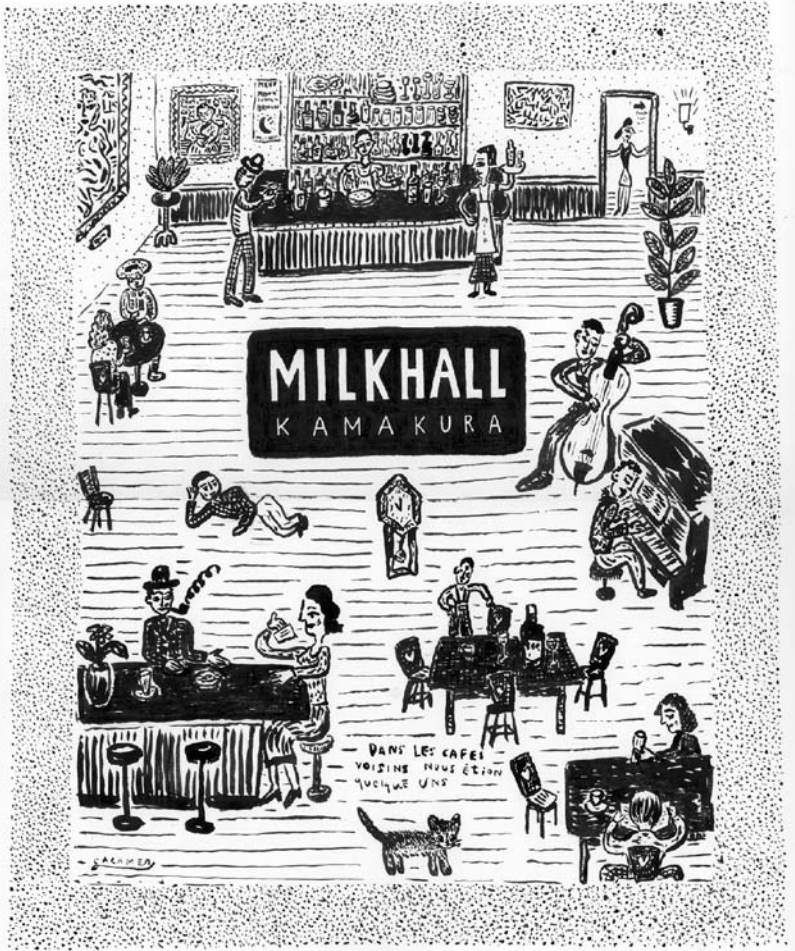
by ミルクホール&ささめやゆき

鎌倉在住の版画家であり挿絵作家でもある、ささめやゆき氏が、数年前ヨレクホールのために5枚の絵を描いて下さいました。ささめやさんは、別名細谷正之の2つの顔を持つ個性的な作家です。昔見た童話のように、時代や、国や、時空を超えて、私達に夢の世界を思い出させてくれる、可愛くて、ちょっともの悲しくなるようなノスタルジックな絵と文で本や版画を作り上げています。最近では、新聞小説の挿絵や月間『すばる』の表紙などで活躍中です。ヨレクホールでは、ささめやさんの描いてくださった5枚の絵をモチーフにオリジナル商品を企画制作しています。また、ヨレクホールでは、ささめやゆき氏の、版画ポストカード絵本なども販売しています。



ミルクホール

- ミルクホールオリジナルグッズ
- グラス5種類 5個セット 350円
 - 2個セット 140円
 - LADY'Sシャツ2種類 250円
 - 三角灰皿5種類 1個 85円
 - ローションポンプ5種類 200円
 - タンブラー 1個 70円
 - 新入荷
 - マグカップ4種類 1個 75円
 - デミカップ4種類 1個 65円
 - ガラスマグ種類限定50組入荷予定



PARTY

ミルクホールの BAR ROOMで
パーティを開きませんか？

ミルクホールで少人数のパーティを企画してみませんか？

ミルクホールでは、奥のBAR ROOMを利用した、数人から15人程度の、小さなパーティを承っております。お友達同士のランチパーティや、ティパーティに、ご利用ください。夜のパーティには、ご希望によりお料理をご用意することもできます。どうぞ、お気軽にご相談下さい。カウンタースタッフまでお問い合わせは、お電話かメールにて



0467-22-1179

<http://www.mikhall.co.jp/>
e-mail info@mikhall.co.jp

Milk Hall Times

ミルクホールタイムス総集編発行
のお知らせ

ミルクホールタイムスは1986年に創刊し、10号を発行するに至ってます。19年の間には一年近い休刊もあり、ご愛読頂いたお客さまから苦情を頂くことも度々ありましたが、10号を越すことになり、思えば長い年月が流れたものだと感慨もひとしおです。つきましては、前々から考えていました、ミルクホールタイムスの総集編を発行したいと思っております。ミルクホールが開店して30年、タイムス創刊号発行より19年。時代も大きく変わりました。自分の頬をつねりたくなるほどに... 長年ミルクホールをご利用頂いたお客様に、19年のさまざまな記憶を辿って頂き、又、鎌倉の猫事情など、読み物をお読み頂くお客様にはバックナンバー全てを読んで頂けるような編集にしております。発行予定は...ただいま奮闘中です。発行日が決まり次第、ご予約など承り、遠方のお客様には郵送もさせていただきます。長年ミルクホールタイムスご愛読頂き、本当にありがとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。



ミルクホール

諸職画鏡挿画 Singular Professions of the Old Japan



中日月通信

土くれ

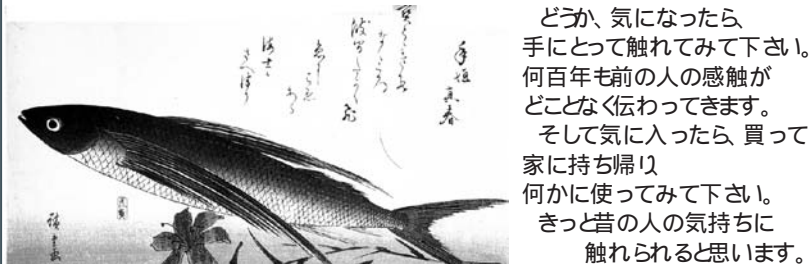
ミルクホールのアンティークの中に、時々紛れ込んでいる土くれのようなものは、たいいてい、何百年も前の、とても古いものです。なにがちよっと気になった方には是非手にとって見てください。

陶器、磁器に限らず焼き物は、すべて土と火と水によってできあがっています。日本はそのどれにも恵まれていますから、縄文の昔から多くの土器を作り親しんできました。日本の歴史は土器の宝庫なのです。

そんな長い歴史を持つ日本のあちこちの土地から、昔の人が使っていた器や、作り損ねた焼き物、使い古して捨ててしまった窯道具などが掘りだされています。

ここ鎌倉でもあちらこちらから、鎌倉時代の、庶民の器や、元からの貿易ものが発掘されています。今でも、材木座の海の港跡近くには、その時代の破片が波打ち際に、落ちていたりすることがあるようです。

ミルクホールの土くれもたいいていはどこかの土地から掘り出された発掘ものです。



鎌倉時代 山茶碗 ¥4000円
江戸時代 窯道具 ¥1500円

2005 賀
ANTTIQUES

ミルクホールのアンティークは
毎日の生活の中で使える
やさしいアンティークです
日常の空間の中で昔の時間と
触れ合ってみてください

新入荷情報

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

四国砥部焼鯨絵染付新入荷

昭和25年～30年頃輸出用デッドストック
敗戦後の日本で産業の再生を賭けて輸出用に焼かれ、そのまま倉庫に眠っていた在庫の品です。
珍しい鯨の絵がモダンなデザインで好評です。
まだ産地に残る残った品を探しました。
猪口・小皿各種の他、鉢等入荷

伊万里 古伊万里入荷
明治銅版各種入荷

◆ アンティーク

大正時代ガラス器
大正時代ランプシェード
スタンドグラス各種
英国製 1920年頃
レプリカ照明器具各種
大正 昭和初期風
ランプシェード金具付

♣ 古陶磁

東大寺瓦・百済瓦など
古伊万里小皿 鉢
大正時代色絵碗・皿入荷
昭和漫画子ども碗
明治銅版そば猪口ほか
伊万里そば猪口 明治鉢
李朝白磁 青磁

♠ 和洋家具 明治・大正時代の和洋家具類

昭和初期布張りラブリチェア
大正時代 衣装箆笥他

LIVE 1/15 Sat.
pm 7:30

湘南の波の音、風のささやき。
自然を肌で感じ、素直に歌にする。
安らぎと優しさ、心地よい響きが聞こえてくる。
中空をやんわりと浮遊するような感覚で
感じて下さい。

HALF MOONの音楽は愛と平和を歌います。

by
琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください